

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	佐渡市	佐渡市立相川病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	堀之内病院	26
-	加茂病院	9	魚沼市	小出病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	28
-	小出病院	11	南魚沼市	南魚沼市民病院	29
-	中央病院	12	湯沢町	湯沢病院	30
-	吉田病院	13	津南町	津南病院	31
-	がんセンター	14	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	32
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	松代病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,669 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	5	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	55.8	57.9	54.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	55.8	57.9	54.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.3	18.4	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	844,997			
1 経常収益	844,997			
(1) 医業収益	518,974			
入院収益	301,112			
外来収益	179,013			
診療収入計	480,125			
その他医業収益	38,849			
(うち他会計負担金)	26,199			
(2) 医業外収益	326,023			
(うち国・都道府県補助金)	217			
(うち他会計補助・負担金)	309,481			
(うち長期前受金戻入)	6,904			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	848,516			
2 経常費用	848,516			
(1) 医業費用	834,448			
職員給与費	582,810	112.3	55.7	72.6
材料費	63,252	12.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	25,048	4.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,439	5.9	11.0	5.6
減価償却費	40,154	7.7	9.0	11.1
経費	144,678	27.9	23.3	31.9
(うち委託料)	75,066	14.5	11.5	13.0
研究研修費	1,906			
資産減耗費	1,648			
(2) 医業外費用	14,068			
(うち支払利息)	950	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-3,519			
純損益	-3,519			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.6		97.7	97.4
医業収支比率	62.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	39.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	64.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	39.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	60.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.1
修正医業収益(千円)	492,775

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	316,296	335,680
資本勘定繰入	18,419	6,463
計	334,715	342,143

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	柿崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,492 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	73.7	78.6	69.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	73.7	78.6	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	24.6	22.9

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,051,895				
1 経常収益	1,051,895				
(1) 医業収益	644,002				
入院収益	395,379				
外来収益	200,288				
診療収入計	595,667				
その他医業収益	48,335				
(うち他会計負担金)	32,256				
(2) 医業外収益	407,893				
(うち国・都道府県補助金)	302				
(うち他会計補助・負担金)	387,820				
(うち長期前受金戻入)	14,346				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,044,655				
2 経常費用	1,044,655				
(1) 医業費用	1,024,894				
職員給与費	670,852	104.2	55.7	72.6	
材料費	69,004	10.7	24.7	15.8	
(うち薬品費)	26,642	4.1	13.3	9.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,968	5.0	11.0	5.6	
減価償却費	61,461	9.5	9.0	11.1	
経費	220,038	34.2	23.3	31.9	
(うち委託料)	101,962	15.8	11.5	13.0	
研究研修費	2,363				
資産減耗費	1,176				
(2) 医業外費用	19,761				
(うち支払利息)	783	0.1	1.4	1.7	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	7,240				
純損益	7,240				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.7		97.7	97.4	
医業収支比率	62.8		88.1	75.6	
他会計繰入金対経常収益比率	39.9		12.3	23.8	
他会計繰入金対医業収益比率	65.2		14.5	32.6	
他会計繰入金対総収益比率	39.9		12.4	23.9	
実質収益対経常費用比率	60.5		85.7	74.2	

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.7
修正医業収益(千円)	611,746

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	398,449	420,076
資本勘定繰入	30,755	15,423
計	429,204	435,499

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	津川病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	14	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	67	47.6	46.5	46.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	47.6	46.5	46.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.3	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.0
修正医業収益(千円)	613,325

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,208,328			
1 経常収益	1,208,328			
(1) 医業収益	667,136			
入院収益	363,724			
外来収益	237,591			
診療収入計	601,315			
その他医業収益	65,821			
(うち他会計負担金)	53,811			
(2) 医業外収益	541,192			
(うち国・都道府県補助金)	492			
(うち他会計補助・負担金)	522,235			
(うち長期前受金戻入)	10,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,201,404			
2 経常費用	1,201,404			
(1) 医業費用	1,180,046			
職員給与費	732,541	109.8	55.7	72.6
材料費	76,988	11.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	31,068	4.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,920	5.7	11.0	5.6
減価償却費	70,832	10.6	9.0	11.1
経費	297,222	44.6	23.3	31.9
(うち委託料)	109,135	16.4	11.5	13.0
研究研修費	1,663			
資産減耗費	800			
(2) 医業外費用	21,358			
(うち支払利息)	1,043	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	6,924			
純損益	6,924			
累積欠損金	25,613			
経常収支比率	100.6		97.7	97.4
医業収支比率	56.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	47.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	86.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	47.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	52.6		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	553,206	576,046
資本勘定繰入	29,818	9,379
計	583,024	585,425

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	妙高病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	5,084 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	56	74.7	72.5	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	74.7	72.5	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		24.7	25.3	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.5
修正医業収益(千円)	658,512

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,143,100			
1 経常収益	1,143,100			
(1) 医業収益	693,991			
入院収益	420,634			
外来収益	221,036			
診療収入計	641,670			
その他医業収益	52,321			
(うち他会計負担金)	35,479			
(2) 医業外収益	449,109			
(うち国・都道府県補助金)	466			
(うち他会計補助・負担金)	421,576			
(うち長期前受金戻入)	23,609			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,126,034			
2 経常費用	1,126,034			
(1) 医業費用	1,106,038			
職員給与費	759,630	109.5	55.7	72.6
材料費	81,552	11.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	35,619	5.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,873	5.0	11.0	5.6
減価償却費	53,477	7.7	9.0	11.1
経費	205,919	29.7	23.3	31.9
(うち委託料)	91,569	13.2	11.5	13.0
研究研修費	2,129			
資産減耗費	3,331			
(2) 医業外費用	19,996			
(うち支払利息)	1,859	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	17,066			
純損益	17,066			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.5		97.7	97.4
医業収支比率	62.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	40.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	65.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	40.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	60.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	433,127	457,055
資本勘定繰入	52,293	22,569
計	485,420	479,624

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	リウマチセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303 m ²	指定病院の状況			
診療科数	2	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	75.0	74.5	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.0	74.5	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	15.3	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収益(千円)	1,633,898

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,210,672			
1 経常収益	2,210,672			
(1) 医業収益	1,633,898			
入院収益	1,106,404			
外来収益	504,839			
診療収入計	1,611,243			
その他医業収益	22,655			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	576,774			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	470,075			
(うち長期前受金戻入)	97,750			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,196,125			
2 経常費用	2,196,125			
(1) 医業費用	2,166,535			
職員給与費	1,142,290	69.9	55.7	61.3
材料費	578,394	35.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	472,788	28.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	84,156	5.2	11.0	8.2
減価償却費	157,169	9.6	9.0	10.2
経費	277,447	17.0	23.3	30.5
(うち委託料)	148,831	9.1	11.5	13.0
研究研修費	10,264			
資産減耗費	971			
(2) 医業外費用	29,590			
(うち支払利息)	1,798	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	14,547			
純損益	14,547			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		97.7	96.5
医業収支比率	75.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	79.3		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	433,762	470,075
資本勘定繰入	15,857	7,524
計	449,619	477,599

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	坂町病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	148	76.8	83.2	85.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	76.8	83.2	85.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	20.8	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,907,496			
1 経常収益	2,907,496			
(1) 医業収益	2,241,218			
入院収益	1,372,882			
外来収益	757,924			
診療収入計	2,130,806			
その他医業収益	110,412			
(うち他会計負担金)	62,159			
(2) 医業外収益	666,278			
(うち国・都道府県補助金)	1,175			
(うち他会計補助・負担金)	612,665			
(うち長期前受金戻入)	40,138			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,895,954			
2 経常費用	2,895,954			
(1) 医業費用	2,822,406			
職員給与費	1,740,384	77.7	55.7	61.3
材料費	432,642	19.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	203,821	9.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	202,319	9.0	11.0	8.2
減価償却費	115,031	5.1	9.0	10.2
経費	515,544	23.0	23.3	30.5
(うち委託料)	200,038	8.9	11.5	13.0
研究研修費	5,979			
資産減耗費	12,826			
(2) 医業外費用	73,548			
(うち支払利息)	33,989	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	11,542			
純損益	11,542			
累積欠損金	6,049,232			
経常収支比率	100.4		97.7	96.5
医業収支比率	79.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	23.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.1		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収益(千円)	2,179,059

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	616,527	674,824
資本勘定繰入	176,282	156,437
計	792,809	831,261

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	六日町病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	9,654	-
資本勘定繰入	65,806	6,663
計	75,460	6,663

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	加茂病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,882 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	118	53.5	44.4	52.1
療養	50	-	29.6	42.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	168	41.0	41.9	50.5
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	19.7	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,678,207			
1 経常収益	1,678,207			
(1) 医業収益	1,384,153			
入院収益	810,638			
外来収益	439,226			
診療収入計	1,249,864			
その他医業収益	134,289			
(うち他会計負担金)	79,280			
(2) 医業外収益	294,054			
(うち国・都道府県補助金)	428			
(うち他会計補助・負担金)	257,932			
(うち長期前受金戻入)	15,602			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,622,294			
2 経常費用	2,289,938			
(1) 医業費用	2,244,327			
職員給与費	1,462,842	105.7	55.7	61.3
材料費	320,349	23.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	206,621	14.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	97,180	7.0	11.0	8.2
減価償却費	62,789	4.5	9.0	10.2
経費	362,861	26.2	23.3	30.5
(うち委託料)	152,026	11.0	11.5	13.0
研究研修費	3,437			
資産減耗費	32,049			
(2) 医業外費用	45,611			
(うち支払利息)	13,683	1.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	332,356			
損益				
経常損益	-611,731			
純損益	-944,087			
累積欠損金	16,980,162			
経常収支比率	73.3		97.7	96.5
医業収支比率	61.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	20.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	58.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.1
修正医業収益(千円)	1,304,873

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,382	337,212
資本勘定繰入	96,958	129,843
計	382,340	467,055

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	十日町病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,664 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	16	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	275	73.4	76.6	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	275	73.4	76.6	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.3	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	4,290,540

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,068,226			
1 経常収益	5,068,226			
(1) 医業収益	4,414,132			
入院収益	3,114,389			
外来収益	1,106,208			
診療収入計	4,220,597			
その他医業収益	193,535			
(うち他会計負担金)	123,592			
(2) 医業外収益	654,094			
(うち国・都道府県補助金)	5,623			
(うち他会計補助・負担金)	416,063			
(うち長期前受金戻入)	194,113			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,670,176			
2 経常費用	5,670,176			
(1) 医業費用	5,512,061			
職員給与費	3,038,409	68.8	55.7	59.8
材料費	985,855	22.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	471,090	10.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	469,039	10.6	11.0	9.2
減価償却費	439,146	9.9	9.0	9.9
経費	1,032,401	23.4	23.3	27.7
(うち委託料)	423,269	9.6	11.5	12.4
研究研修費	10,831			
資産減耗費	5,419			
(2) 医業外費用	158,115			
(うち支払利息)	22,085	0.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-601,950			
純損益	-601,950			
累積欠損金	3,479,657			
経常収支比率	89.4		97.7	96.3
医業収支比率	80.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	79.9		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	434,874	539,655
資本勘定繰入	226,351	180,378
計	661,225	720,033

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	小出病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	665,731			
経常収支比率	-		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	-		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,969	-
資本勘定繰入	90,883	53,970
計	94,852	53,970

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,305 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	524	83.7	84.2	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	530	82.7	83.2	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.9	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,791,208			
1 経常収益	17,791,208			
(1) 医業収益	15,942,000			
入院収益	10,278,775			
外来収益	5,052,319			
診療収入計	15,331,094			
その他医業収益	610,906			
(うち他会計負担金)	408,534			
(2) 医業外収益	1,849,208			
(うち国・都道府県補助金)	43,699			
(うち他会計補助・負担金)	1,119,816			
(うち長期前受金戻入)	547,097			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,037,577			
2 経常費用	17,037,577			
(1) 医業費用	16,574,133			
職員給与費	8,061,187	50.6	55.7	49.1
材料費	5,281,208	33.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,870,096	18.0	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,312,091	14.5	11.0	12.7
減価償却費	1,024,927	6.4	9.0	8.4
経費	2,130,789	13.4	23.3	20.7
(うち委託料)	999,243	6.3	11.5	11.6
研究研修費	33,301			
資産減耗費	42,721			
(2) 医業外費用	463,444			
(うち支払利息)	254,861	1.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	753,631			
純損益	753,631			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.4		97.7	98.8
医業収支比率	96.2		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	95.5		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	3,761,342
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.7
修正医業収益(千円)	15,533,466

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,209,803	1,528,350
資本勘定繰入	908,660	1,215,264
計	2,118,463	2,743,614

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	吉田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	41.4	42.9	44.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	41.4	42.9	44.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	16.2	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.5
修正医業収益(千円)	2,205,111

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,824,651			
1 経常収益	2,824,651			
(1) 医業収益	2,309,216			
入院収益	989,590			
外来収益	1,161,384			
診療収入計	2,150,974			
その他医業収益	158,242			
(うち他会計負担金)	104,105			
(2) 医業外収益	515,435			
(うち国・都道府県補助金)	501			
(うち他会計補助・負担金)	441,272			
(うち長期前受金戻入)	42,242			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,748,647			
2 経常費用	3,748,647			
(1) 医業費用	3,528,680			
職員給与費	2,035,308	88.1	55.7	61.3
材料費	575,993	24.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	359,488	15.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	199,309	8.6	11.0	8.2
減価償却費	202,075	8.8	9.0	10.2
経費	693,597	30.0	23.3	30.5
(うち委託料)	299,327	13.0	11.5	13.0
研究研修費	9,941			
資産減耗費	11,766			
(2) 医業外費用	219,967			
(うち支払利息)	7,653	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-923,996			
純損益	-923,996			
累積欠損金	13,800,051			
経常収支比率	75.4		97.7	96.5
医業収支比率	65.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	60.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	482,371	545,377
資本勘定繰入	87,565	29,262
計	569,936	574,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,173 m ²	指定病院の状況	救臨が 輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	421	79.4	72.6	76.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	421	79.4	72.6	76.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.4	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	15,414,273

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,297,614			
1 経常収益	17,297,614			
(1) 医業収益	15,635,399			
入院収益	7,725,336			
外来収益	7,264,270			
診療収入計	14,989,606			
その他医業収益	645,793			
(うち他会計負担金)	221,126			
(2) 医業外収益	1,662,215			
(うち国・都道府県補助金)	14,402			
(うち他会計補助・負担金)	1,373,017			
(うち長期前受金戻入)	181,182			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,927,082			
2 経常費用	16,927,082			
(1) 医業費用	16,658,156			
職員給与費	6,744,354	43.1	55.7	54.0
材料費	6,946,133	44.4	24.7	26.9
(うち薬品費)	5,427,945	34.7	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,446,474	9.3	11.0	12.2
減価償却費	873,442	5.6	9.0	7.9
経費	1,896,685	12.1	23.3	19.2
(うち委託料)	1,149,319	7.4	11.5	9.3
研究研修費	182,024			
資産減耗費	15,518			
(2) 医業外費用	268,926			
(うち支払利息)	23,535	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	370,532			
純損益	370,532			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.2		97.7	98.8
医業収支比率	93.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	92.8		85.7	89.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,388,871	1,594,143
資本勘定繰入	295,559	169,062
計	1,684,430	1,763,205

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	新発田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,233 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	429	86.5	89.0	89.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	45	58.2	62.2	52.4
感染症	4	3.1	-	-
計	478	83.1	85.8	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.5	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.9
修正医業収益(千円)	13,287,930

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,461,271			
1 経常収益	16,461,271			
(1) 医業収益	13,721,314			
入院収益	8,792,940			
外来収益	4,265,016			
診療収入計	13,057,956			
その他医業収益	663,358			
(うち他会計負担金)	433,384			
(2) 医業外収益	2,739,957			
(うち国・都道府県補助金)	30,646			
(うち他会計補助・負担金)	1,740,988			
(うち長期前受金戻入)	832,720			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,538,077			
2 経常費用	16,538,077			
(1) 医業費用	15,836,670			
職員給与費	7,815,594	57.0	55.7	54.0
材料費	4,548,339	33.1	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,607,813	19.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,849,983	13.5	11.0	12.2
減価償却費	1,205,044	8.8	9.0	7.9
経費	2,218,638	16.2	23.3	19.2
(うち委託料)	1,101,779	8.0	11.5	9.3
研究研修費	27,982			
資産減耗費	21,073			
(2) 医業外費用	701,407			
(うち支払利息)	300,353	2.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-76,806			
純損益	-76,806			
累積欠損金	1,117,479			
経常収支比率	99.5		97.7	98.8
医業収支比率	86.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	86.4		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,794,406	2,174,372
資本勘定繰入	599,712	879,246
計	2,394,118	3,053,618

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,502 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	4	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	400	36.7	38.8	40.3
感染症	-	-	-	-
計	400	36.7	38.8	40.3
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,223,314			
1 経常収益	3,212,753			
(1) 医業収益	1,210,618			
入院収益	982,160			
外来収益	215,387			
診療収入計	1,197,547			
その他医業収益	13,071			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,002,135			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,801,063			
(うち長期前受金戻入)	158,327			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,561			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,199,366			
2 経常費用	3,199,366			
(1) 医業費用	3,062,422			
職員給与費	2,273,292	187.8	55.7	98.9
材料費	138,629	11.5	24.7	8.8
(うち薬品費)	72,865	6.0	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,666	1.8	11.0	1.1
減価償却費	200,278	16.5	9.0	12.7
経費	442,177	36.5	23.3	34.6
(うち委託料)	186,720	15.4	11.5	17.1
研究研修費	5,156			
資産減耗費	2,890			
(2) 医業外費用	136,944			
(うち支払利息)	89,694	7.4	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	13,387			
純損益	23,948			
累積欠損金	1,103			
経常収支比率	100.4		97.7	98.9
医業収支比率	39.5		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	56.1		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	148.8		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	55.9		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	44.1		85.7	64.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.5
修正医業収益(千円)	1,210,618

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,688,057	1,801,063
資本勘定繰入	277,646	385,109
計	1,965,703	2,186,172

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	魚沼基幹病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	400	84.3	84.4	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	67.6	68.2	74.7
感染症	4	-	-	-
計	454	80.9	80.7	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	10.9	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,549 m ²	指定病院の状況	救臨 震災
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	0.8
修正医業収益(千円)	32,821

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,110,079			
1 経常収益	4,046,973			
(1) 医業収益	431,777			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	431,777			
(うち他会計負担金)	398,956			
(2) 医業外収益	3,615,196			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,723,783			
(うち長期前受金戻入)	1,885,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,106			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,051,581			
2 経常費用	4,051,581			
(1) 医業費用	3,870,421			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	1,885,216	436.6	9.0	7.9
経費	1,985,205	459.8	23.3	19.2
(うち委託料)	44,725	10.4	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	181,160			
(うち支払利息)	115,032	26.6	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-4,608			
純損益	58,498			
累積欠損金	596,298			
経常収支比率	99.9		97.7	98.8
医業収支比率	11.2		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	52.5		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	491.6		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	51.6		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	47.5		85.7	89.1

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,937,911	2,122,739
資本勘定繰入	429,649	859,300
計	2,367,560	2,982,039

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	
		病院名	県央基幹病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-	類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	2,304,264	
決算規模（千円）	1,032,642,176	
標準財政規模（千円）	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率（%）	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	16.6
	将来負担比率（%）	326.7

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	-
材料費	-	-	24.7	-
(うち薬品費)	-	-	13.3	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	-
減価償却費	-	-	9.0	-
経費	-	-	23.3	-
(うち委託料)	-	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	-
医業収支比率	-		88.1	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	-
実質収益対経常費用比率	-		85.7	-

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金（ ）	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	3,761,342
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	5,759	8,639
計	5,759	8,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	54.4
健全化法上の資金不足額（千円）	1,266,649
健全化法上の資金不足比率（%）	2.0
地財法上の資金不足額（千円）	1,266,649
地財法上の資金不足比率（%）	2.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	
	病院名	燕労災病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,926 m ²	指定病院の状況	救地輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	71.4	73.9	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	71.4	73.9	-
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	19.3	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,304,264	
決算規模(千円)	1,032,642,176	
標準財政規模(千円)	550,268,923	
財政力指数	0.46910	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.6
	将来負担比率(%)	326.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	909,394			
1 経常収益	896,307			
(1) 医業収益	116,827			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	116,827			
(うち他会計負担金)	106,186			
(2) 医業外収益	779,480			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	400,213			
(うち長期前受金戻入)	234,420			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,087			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	892,082			
2 経常費用	892,082			
(1) 医業費用	745,006			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	231,991	198.6	9.0	9.3
経費	510,587	437.0	23.3	22.1
(うち委託料)	25,337	21.7	11.5	11.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	2,428	-	-	-
(2) 医業外費用	147,076	-	-	-
(うち支払利息)	323	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	4,225			
純損益	17,312			
累積欠損金	57,039			
経常収支比率	100.5		97.7	96.4
医業収支比率	15.7		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	56.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	433.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	55.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	43.7		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	103,049,519
1 固定資産	84,542,758
(1) 有形固定資産	79,632,537
(2) 無形固定資産	32,247
(3) 投資その他の資産	4,877,974
2 流動資産	18,506,761
(1) 現金及び預金	8,145,385
(2) 未収金及び未収収益	10,126,695
(3) 貸倒引当金()	235,681
(4) 貯蔵品	280,056
3 繰延資産	-
負債合計	106,810,861
1 固定負債	68,846,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,282,855
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	6,107,918
(7) リース債務	455,608
2 流動負債	23,276,422
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,272,619
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,232,149
(6) リース債務	243,590
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,969,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,688,058
(1) 長期前受金	27,920,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,232,044
資本合計	-3,761,342
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-32,750,361
(1) 資本金剰余金	711,889
(2) 利益剰余金	-33,462,250
負債・資本合計	103,049,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,761,342
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.4
修正医業収益(千円)	10,641

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	118,064	506,399
資本勘定繰入	57,647	182,250
計	175,711	688,649

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.4
健全化法上の資金不足額(千円)	1,266,649
健全化法上の資金不足比率(%)	2.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,266,649
地財法上の資金不足比率(%)	2.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	新潟市
	病院名	新潟市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	58,109 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	35	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	652	86.5	88.0	89.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	38.6	49.5	67.3
感染症	8	10.7	0.4	0.2
計	676	84.4	86.0	88.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	810,157	
決算規模(千円)	396,836,184	
標準財政規模(千円)	229,508,356	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	139.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,554,085			
1 経常収益	24,546,613			
(1) 医業収益	21,531,407			
入院収益	15,290,025			
外来収益	5,207,219			
診療収入計	20,497,244			
その他医業収益	1,034,163			
(うち他会計負担金)	611,701			
(2) 医業外収益	3,015,206			
(うち国・都道府県補助金)	49,601			
(うち他会計補助・負担金)	1,673,568			
(うち長期前受金戻入)	941,876			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,472			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,041,298			
2 経常費用	26,036,886			
(1) 医業費用	24,576,247			
職員給与費	10,580,100	49.1	55.7	49.1
材料費	6,836,872	31.8	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,377,800	15.7	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,459,072	16.1	11.0	12.7
減価償却費	2,085,846	9.7	9.0	8.4
経費	4,959,980	23.0	23.3	20.7
(うち委託料)	2,150,083	10.0	11.5	11.6
研究研修費	93,130			
資産減耗費	20,319			
(2) 医業外費用	1,460,639			
(うち支払利息)	398,723	1.9	1.4	1.2
(3) 特別損失	4,412			
損益				
経常損益	-1,490,273			
純損益	-1,487,213			
累積欠損金	4,181,135			
経常収支比率	94.3		97.7	98.8
医業収支比率	87.6		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	85.5		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	34,071,809
1 固定資産	21,906,855
(1) 有形固定資産	20,256,484
(2) 無形固定資産	958,472
(3) 投資その他の資産	691,899
2 流動資産	12,164,954
(1) 現金及び預金	8,467,289
(2) 未収金及び未収収益	3,636,427
(3) 貸倒引当金()	20,228
(4) 貯蔵品	81,466
3 繰延資産	-
負債合計	30,937,990
1 固定負債	25,918,969
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,308,193
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,591,390
(7) リース債務	19,386
2 流動負債	4,558,480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,983,544
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	680,224
(6) リース債務	42,354
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,755,611
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	460,541
(1) 長期前受金	11,058,990
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,598,449
資本合計	3,133,819
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-4,174,001
(1) 資本剰余金	7,134
(2) 利益剰余金	-4,181,135
負債・資本合計	34,071,809
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.1
修正医業収益(千円)	20,919,706

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,285,269	2,285,269
資本勘定繰入	885,296	885,296
計	3,170,565	3,170,565

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	見附市
				病院名	見附市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,150 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	94	77.9	84.5	84.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	77.9	84.5	84.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	19.5	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	40,608	
決算規模(千円)	18,193,274	
標準財政規模(千円)	9,756,149	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	98.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	145.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.3
修正医業収益(千円)	2,039,789

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,398,222			
1 経常収益	2,398,087			
(1) 医業収益	2,076,083			
入院収益	785,626			
外来収益	704,815			
診療収入計	1,490,441			
その他医業収益	585,642			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	322,004			
(うち国・都道府県補助金)	178			
(うち他会計補助・負担金)	279,706			
(うち長期前受金戻入)	34,034			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	135			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,512,520			
2 経常費用	2,512,520			
(1) 医業費用	2,418,404			
職員給与費	1,457,078	70.2	55.7	72.6
材料費	475,109	22.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	397,181	19.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,953	1.7	11.0	5.6
減価償却費	125,050	6.0	9.0	11.1
経費	350,944	16.9	23.3	31.9
(うち委託料)	176,059	8.5	11.5	13.0
研究研修費	8,048			
資産減耗費	2,175			
(2) 医業外費用	94,116			
(うち支払利息)	13,806	0.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-114,433			
純損益	-114,298			
累積欠損金	1,275,362			
経常収支比率	95.4		97.7	97.4
医業収支比率	85.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	82.9		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,490,300
1 固定資産	1,771,192
(1) 有形固定資産	1,759,417
(2) 無形固定資産	11,775
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	719,108
(1) 現金及び預金	342,330
(2) 未収金及び未収収益	352,794
(3) 貸倒引当金()	530
(4) 貯蔵品	24,514
3 繰延資産	-
負債合計	2,499,510
1 固定負債	1,107,696
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	514,774
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	580,584
(7) リース債務	12,338
2 流動負債	429,866
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,147
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,203
(6) リース債務	17,615
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	258,126
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	961,948
(1) 長期前受金	2,030,439
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,068,491
資本合計	-9,210
1 資本金	1,252,245
2 剰余金	-1,261,455
(1) 資本剰余金	13,907
(2) 利益剰余金	-1,275,362
負債・資本合計	2,490,300
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	9,210
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	226,128	316,000
資本勘定繰入	71,000	71,000
計	297,128	387,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	上越市
		病院名	上越地域医療センター病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,956 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	142	81.6	81.5	81.1
療養	55	81.4	80.5	81.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	81.6	81.2	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	20.7	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	196,987	
決算規模(千円)	97,972,706	
標準財政規模(千円)	55,972,957	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	91.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収益(千円)	2,335,448

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,619,122			
1 経常収益	2,619,122			
(1) 医業収益	2,335,448			
入院収益	1,815,007			
外来収益	460,745			
診療収入計	2,275,752			
その他医業収益	59,696			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	283,674			
(うち国・都道府県補助金)	3,751			
(うち他会計補助・負担金)	200,067			
(うち長期前受金戻入)	75,297			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,667,883			
2 経常費用	2,667,883			
(1) 医業費用	2,590,958			
職員給与費	8,640	0.4	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	121,295	5.2	9.0	10.2
経費	2,460,116	105.3	23.3	30.5
(うち委託料)	2,241,085	96.0	11.5	13.0
研究研修費	907			
資産減耗費	907			
(2) 医業外費用	76,925			
(うち支払利息)	15,688	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-48,761			
純損益	-48,761			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.2		97.7	96.5
医業収支比率	90.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,096,323
1 固定資産	2,451,870
(1) 有形固定資産	2,444,063
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	7,807
2 流動資産	1,644,453
(1) 現金及び預金	1,301,345
(2) 未収金及び未収収益	364,988
(3) 貸倒引当金()	21,880
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,461,972
1 固定負債	1,584,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,122,848
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	461,455
(7) リース債務	-
2 流動負債	344,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	137,622
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,141
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	84,518
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	533,388
(1) 長期前受金	2,565,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,032,593
資本合計	1,634,351
1 資本金	-
2 剰余金	1,634,351
(1) 資本剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	582,351
負債・資本合計	4,096,323
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	196,439	200,067
資本勘定繰入	90,324	90,324
計	286,763	290,391

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	阿賀野市
				病院名	あがの市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,192 m ²	指定病院の状況	輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	196	75.2	72.8	70.9
療養	-	89.9	86.5	68.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	77.7	75.8	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		27.2	26.4	27.1

設立団体の状況		
人口(人)	43,415	
決算規模(千円)	20,321,942	
標準財政規模(千円)	12,598,332	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	135.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	520,007			
1 経常収益	520,007			
(1) 医業収益	4,029			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	4,029			
(うち他会計負担金)	4,029			
(2) 医業外収益	515,978			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	69,395			
(うち長期前受金戻入)	186,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	910,043			
2 経常費用	909,390			
(1) 医業費用	863,513			
職員給与費	8,525	211.6	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	638,653	15851.4	9.0	10.2
経費	216,335	5369.4	23.3	30.5
(うち委託料)	210,366	5221.3	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,877			
(うち支払利息)	45,152	1120.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	653			
損益				
経常損益	-389,383			
純損益	-390,036			
累積欠損金	7,687,462			
経常収支比率	57.2		97.7	96.5
医業収支比率	0.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	1822.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	49.1		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,666,902
1 固定資産	7,504,954
(1) 有形固定資産	7,504,422
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	161,948
(1) 現金及び預金	151,937
(2) 未収金及び未収収益	10,011
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,855,463
1 固定負債	5,113,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,113,464
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	83,816
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,236
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	351
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,203
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	658,183
(1) 長期前受金	1,466,194
(2) 長期前受金収益化累計額()	808,011
資本合計	1,811,439
1 資本金	8,068,901
2 剰余金	-6,257,462
(1) 資本金剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-7,687,462
負債・資本合計	7,666,902
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	48,494	73,424
資本勘定繰入	20,923	23,673
計	69,417	97,097

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	190803.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	佐渡市
				病院名	佐渡市立両津病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,097 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	51.8	54.3	53.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	51.8	54.3	53.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	16.5	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	57,255	
決算規模(千円)	42,714,028	
標準財政規模(千円)	25,879,829	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	127.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.0
修正医業収益(千円)	900,529

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,095,966			
1 経常収益	1,095,966			
(1) 医業収益	958,914			
入院収益	486,477			
外来収益	370,895			
診療収入計	857,372			
その他医業収益	101,542			
(うち他会計負担金)	58,385			
(2) 医業外収益	137,052			
(うち国・都道府県補助金)	9,928			
(うち他会計補助・負担金)	100,235			
(うち長期前受金戻入)	6,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,216,129			
2 経常費用	1,214,797			
(1) 医業費用	1,185,486			
職員給与費	669,227	69.8	55.7	72.6
材料費	117,914	12.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	41,775	4.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,984	7.0	11.0	5.6
減価償却費	67,076	7.0	9.0	11.1
経費	327,440	34.1	23.3	31.9
(うち委託料)	141,560	14.8	11.5	13.0
研究研修費	2,109			
資産減耗費	1,720			
(2) 医業外費用	29,311			
(うち支払利息)	101	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,332			
損益				
経常損益	-118,831			
純損益	-120,163			
累積欠損金	2,477,109			
経常収支比率	90.2		97.7	97.4
医業収支比率	80.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	77.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,055,830
1 固定資産	1,006,311
(1) 有形固定資産	995,989
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	9,157
2 流動資産	1,049,519
(1) 現金及び預金	830,082
(2) 未収金及び未収収益	210,446
(3) 貸倒引当金()	540
(4) 貯蔵品	9,482
3 繰延資産	-
負債合計	251,736
1 固定負債	41,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,885
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,733
2 流動負債	148,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,115
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,422
(6) リース債務	2,802
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,613
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	61,526
(1) 長期前受金	262,411
(2) 長期前受金収益化累計額()	200,885
資本合計	1,804,094
1 資本金	4,668,125
2 剰余金	-2,864,031
(1) 資本金剰余金	945,261
(2) 利益剰余金	-3,809,292
負債・資本合計	2,055,830
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,261	158,620
資本勘定繰入	1,154	29,741
計	159,415	188,361

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	297.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	佐渡市
		病院名	佐渡市立相川病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,740 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	1	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	52	62.0	73.2	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	62.0	73.2	82.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	57,255	
決算規模(千円)	42,714,028	
標準財政規模(千円)	25,879,829	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.6
	将来負担比率(%)	127.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	395,152			
1 経常収益	395,118			
(1) 医業収益	323,488			
入院収益	170,992			
外来収益	96,558			
診療収入計	267,550			
その他医業収益	55,938			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	71,630			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	66,223			
(うち長期前受金戻入)	589			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	521,916			
2 経常費用	521,877			
(1) 医業費用	509,591			
職員給与費	294,282	91.0	55.7	72.6
材料費	37,077	11.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	15,725	4.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	21,352	6.6	11.0	5.6
減価償却費	32,106	9.9	9.0	11.1
経費	144,515	44.7	23.3	31.9
(うち委託料)	60,309	18.6	11.5	13.0
研究研修費	895			
資産減耗費	716			
(2) 医業外費用	12,286			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	39			
損益				
経常損益	-126,759			
純損益	-126,764			
累積欠損金	1,332,183			
経常収支比率	75.7		97.7	97.4
医業収支比率	63.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	32.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	26.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	55.7		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,055,830
1 固定資産	1,006,311
(1) 有形固定資産	995,989
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	9,157
2 流動資産	1,049,519
(1) 現金及び預金	830,082
(2) 未収金及び未収収益	210,446
(3) 貸倒引当金()	540
(4) 貯蔵品	9,482
3 繰延資産	-
負債合計	251,736
1 固定負債	41,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,885
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,733
2 流動負債	148,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,115
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,422
(6) リース債務	2,802
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,613
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	61,526
(1) 長期前受金	262,411
(2) 長期前受金収益化累計額()	200,885
資本合計	1,804,094
1 資本金	4,668,125
2 剰余金	-2,864,031
(1) 資本金剰余金	945,261
(2) 利益剰余金	-3,809,292
負債・資本合計	2,055,830
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.0
修正医業収益(千円)	285,497

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	104,214	104,214
資本勘定繰入	336	100,336
計	104,550	204,550

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	297.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	新潟県
		市町村・組合名	魚沼市
		病院名	堀之内病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	37,352	
決算規模(千円)	30,446,026	
標準財政規模(千円)	15,649,138	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	34.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,639			
1 経常収益	5,639			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,639			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,639			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,639			
2 経常費用	5,639			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,639			
(うち支払利息)	5,639	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,041,447			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,758	5,639
資本勘定繰入	22,856	34,285
計	26,614	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3851.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	魚沼市
				病院名	小出病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,375 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	91.2	92.7	93.4
療養	44	91.2	90.1	77.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	91.2	91.9	88.2
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.7	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	37,352	
決算規模(千円)	30,446,026	
標準財政規模(千円)	15,649,138	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	34.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	829,815			
1 経常収益	829,815			
(1) 医業収益	41,385			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	41,385			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	788,430			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	446,237			
(うち長期前受金戻入)	340,611			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	884,521			
2 経常費用	884,521			
(1) 医業費用	870,362			
職員給与費	3,804	9.2	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	477,754	1154.4	9.0	10.2
経費	388,804	939.5	23.3	30.5
(うち委託料)	251	0.6	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,159			
(うち支払利息)	14,159	34.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-54,706			
純損益	-54,706			
累積欠損金	552,625			
経常収支比率	93.8		97.7	96.5
医業収支比率	4.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	58.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	1178.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	58.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	38.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,675,347
1 固定資産	5,255,963
(1) 有形固定資産	5,254,408
(2) 無形固定資産	1,555
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	419,384
(1) 現金及び預金	290,007
(2) 未収金及び未収収益	129,749
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,989,797
1 固定負債	4,096,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,096,207
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	568,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	348
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	93,387
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,324,805
(1) 長期前受金	2,310,426
(2) 長期前受金収益化累計額()	985,621
資本合計	-314,450
1 資本金	1,263,404
2 剰余金	-1,577,854
(1) 資本剰余金	16,218
(2) 利益剰余金	-1,594,072
負債・資本合計	5,675,347
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	314,450
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	491,943	487,622
資本勘定繰入	148,739	278,626
計	640,682	766,248

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3851.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	南魚沼市
				病院名	ゆきぐに大和病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	12,121 m ²	指定病院の状況	救	へ	
診療科数	11	看護配置	13	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	82.3	82.8	89.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	82.3	82.8	89.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.8	22.9	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	58,568	
決算規模(千円)	31,532,972	
標準財政規模(千円)	19,545,536	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	106.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.8
修正医業収益(千円)	1,091,464

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,313,996			
1 経常収益	1,313,743			
(1) 医業収益	1,127,758			
入院収益	412,821			
外来収益	349,498			
診療収入計	762,319			
その他医業収益	365,439			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	185,985			
(うち国・都道府県補助金)	2,704			
(うち他会計補助・負担金)	129,171			
(うち長期前受金戻入)	6,244			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	253			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,311,327			
2 経常費用	1,311,327			
(1) 医業費用	1,271,635			
職員給与費	555,306	49.2	55.7	80.8
材料費	93,777	8.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	40,832	3.6	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,913	4.7	11.0	4.9
減価償却費	91,511	8.1	9.0	12.9
経費	519,497	46.1	23.3	47.4
(うち委託料)	148,463	13.2	11.5	20.7
研究研修費	2,627			
資産減耗費	8,917			
(2) 医業外費用	39,692			
(うち支払利息)	4,495	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2,416			
純損益	2,669			
累積欠損金	1,836,631			
経常収支比率	100.2		97.7	96.7
医業収支比率	88.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	87.6		85.7	64.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,854,682
1 固定資産	7,233,064
(1) 有形固定資産	7,231,597
(2) 無形固定資産	1,467
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,621,618
(1) 現金及び預金	746,662
(2) 未収金及び未収収益	794,655
(3) 貸倒引当金()	7,639
(4) 貯蔵品	86,386
3 繰延資産	-
負債合計	7,132,625
1 固定負債	4,790,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,584,262
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,719,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	440,344
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,143
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	539,291
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	622,263
(1) 長期前受金	1,291,397
(2) 長期前受金収益化累計額()	669,134
資本合計	1,722,057
1 資本金	5,216,998
2 剰余金	-3,494,941
(1) 資本剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-3,515,732
負債・資本合計	8,854,682
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	163,049	165,465
資本勘定繰入	36,506	36,506
計	199,555	201,971

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	南魚沼市
				病院名	南魚沼市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,890 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	25	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	140	83.7	85.2	86.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	83.7	85.2	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.0	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	58,568	
決算規模(千円)	31,532,972	
標準財政規模(千円)	19,545,536	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	106.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.9
修正医業収益(千円)	3,380,790

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,070,149			
1 経常収益	4,070,149			
(1) 医業収益	3,436,248			
入院収益	1,686,405			
外来収益	1,566,953			
診療収入計	3,253,358			
その他医業収益	182,890			
(うち他会計負担金)	55,458			
(2) 医業外収益	633,901			
(うち国・都道府県補助金)	5,169			
(うち他会計補助・負担金)	530,933			
(うち長期前受金戻入)	25,865			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,385,435			
2 経常費用	4,385,147			
(1) 医業費用	4,232,451			
職員給与費	1,787,433	52.0	55.7	61.3
材料費	758,850	22.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	428,390	12.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	329,879	9.6	11.0	8.2
減価償却費	546,605	15.9	9.0	10.2
経費	1,119,838	32.6	23.3	30.5
(うち委託料)	351,283	10.2	11.5	13.0
研究研修費	16,977			
資産減耗費	2,748			
(2) 医業外費用	152,696			
(うち支払利息)	15,312	0.4	1.4	1.6
(3) 特別損失	288			
損益				
経常損益	-314,998			
純損益	-315,286			
累積欠損金	1,679,101			
経常収支比率	92.8		97.7	96.5
医業収支比率	81.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	79.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,854,682
1 固定資産	7,233,064
(1) 有形固定資産	7,231,597
(2) 無形固定資産	1,467
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,621,618
(1) 現金及び預金	746,662
(2) 未収金及び未収収益	794,655
(3) 貸倒引当金()	7,639
(4) 貯蔵品	86,386
3 繰延資産	-
負債合計	7,132,625
1 固定負債	4,790,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,584,262
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	206,400
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,719,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	440,344
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	135,143
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	539,291
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	622,263
(1) 長期前受金	1,291,397
(2) 長期前受金収益化累計額()	669,134
資本合計	1,722,057
1 資本金	5,216,998
2 剰余金	-3,494,941
(1) 資本剰余金	20,791
(2) 利益剰余金	-3,515,732
負債・資本合計	8,854,682
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	575,591	586,391
資本勘定繰入	182,177	182,177
計	757,768	768,568

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	湯沢町
				病院名	湯沢病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,090 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	6	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	61.2	60.8	62.6
療養	50	79.0	81.5	82.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	71.1	72.3	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	15.6	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	8,046	
決算規模(千円)	7,009,057	
標準財政規模(千円)	3,985,503	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	88.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	28.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	335,981			
1 経常収益	325,406			
(1) 医業収益	40,206			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	40,206			
(うち他会計負担金)	40,206			
(2) 医業外収益	285,200			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	228,608			
(うち長期前受金戻入)	56,208			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,575			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	278,231			
2 経常費用	278,231			
(1) 医業費用	268,378			
職員給与費	5,678	14.1	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	81,206	202.0	9.0	11.1
経費	180,580	449.1	23.3	31.9
(うち委託料)	5,079	12.6	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	914	-	-	-
(2) 医業外費用	9,853	-	-	-
(うち支払利息)	3,622	9.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	47,175			
純損益	57,750			
累積欠損金	501,963			
経常収支比率	117.0		97.7	97.4
医業収支比率	15.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	82.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	668.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	80.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	20.3		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,720,079
1 固定資産	2,311,679
(1) 有形固定資産	2,311,679
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	389,836
(1) 現金及び預金	389,836
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	18,564
負債合計	781,462
1 固定負債	221,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	221,110
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	41,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,187
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	482
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	518,488
(1) 長期前受金	1,639,912
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,121,424
資本合計	1,938,617
1 資本金	2,080,301
2 剰余金	-141,684
(1) 資本金剰余金	360,279
(2) 利益剰余金	-501,963
負債・資本合計	2,720,079
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,663	268,814
資本勘定繰入	19,952	35,725
計	282,615	304,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1248.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	津南町
				病院名	津南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	7,163 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	70.2	77.8	52.4
療養	52	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	70.2	77.8	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	18.8	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	10,029	
決算規模(千円)	6,645,095	
標準財政規模(千円)	4,388,929	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	79.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	72.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.9
修正医業収益(千円)	758,147

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,231,338			
1 経常収益	1,231,158			
(1) 医業収益	792,660			
入院収益	337,961			
外来収益	352,593			
診療収入計	690,554			
その他医業収益	102,106			
(うち他会計負担金)	34,513			
(2) 医業外収益	438,498			
(うち国・都道府県補助金)	423			
(うち他会計補助・負担金)	434,799			
(うち長期前受金戻入)	633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	180			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,224,733			
2 経常費用	1,218,653			
(1) 医業費用	1,185,914			
職員給与費	736,205	92.9	55.7	72.6
材料費	88,023	11.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	40,002	5.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,911	5.0	11.0	5.6
減価償却費	64,004	8.1	9.0	11.1
経費	295,169	37.2	23.3	31.9
(うち委託料)	108,920	13.7	11.5	13.0
研究研修費	1,994			
資産減耗費	519			
(2) 医業外費用	32,739			
(うち支払利息)	3,387	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	6,080			
損益				
経常損益	12,505			
純損益	6,605			
累積欠損金	1,123,823			
経常収支比率	101.0		97.7	97.4
医業収支比率	66.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	38.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	59.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	38.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	62.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	881,454
1 固定資産	580,324
(1) 有形固定資産	580,324
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	301,130
(1) 現金及び預金	176,940
(2) 未収金及び未収収益	117,104
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,055
3 繰延資産	-
負債合計	294,478
1 固定負債	133,577
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,337
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	81,240
2 流動負債	148,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,903
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,888
(6) リース債務	28,341
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	73,747
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,037
(1) 長期前受金	23,198
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,161
資本合計	586,976
1 資本金	1,710,799
2 剰余金	-1,123,823
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,123,823
負債・資本合計	881,454
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,039	469,312
資本勘定繰入	25,749	25,749
計	195,788	495,061

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	141.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	新潟県
	市町村・組合名	さくら福祉保健事務組合
	病院名	南部郷厚生病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	7,959 m ²	指定病院の状況	
診療科数	6	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	70	77.6	77.7	72.5
療養	50	69.9	63.3	58.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	74.4	71.7	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		143.5	175.2	156.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	406,684	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	143.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.7
修正医業収益(千円)	229,694

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	262,036			
1 経常収益	262,036			
(1) 医業収益	229,694			
入院収益	139,045			
外来収益	76,875			
診療収入計	215,920			
その他医業収益	13,774			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	32,342			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	27,706			
(うち長期前受金戻入)	900			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	256,597			
2 経常費用	256,597			
(1) 医業費用	228,197			
職員給与費	7,924	3.4	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	97,818	42.6	9.0	10.2
経費	122,392	53.3	23.3	30.5
(うち委託料)	93,486	40.7	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	63	-	-	-
(2) 医業外費用	28,400			
(うち支払利息)	27,734	12.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	5,439			
純損益	5,439			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.1		97.7	96.5
医業収支比率	100.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.3		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,275,834
1 固定資産	1,686,648
(1) 有形固定資産	1,686,648
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	589,186
(1) 現金及び預金	560,205
(2) 未収金及び未収収益	29,055
(3) 貸倒引当金()	74
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,428,331
1 固定負債	1,199,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,195,094
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,149
2 流動負債	200,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	138,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	727
(6) リース債務	1,034
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	28,956
(1) 長期前受金	49,504
(2) 長期前受金収益化累計額()	20,548
資本合計	847,503
1 資本金	837,676
2 剰余金	9,827
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	9,827
負債・資本合計	2,275,834
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	17,912	27,706
資本勘定繰入	100,667	52,766
計	118,579	80,472

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。